

■米国：FERC、今夏の卸電力市場価格について大幅な下落を予想

連邦エネルギー規制委員会（FERC）は 2009 年 5 月 21 日、今夏の卸電力市場における先物価格が昨年と比較して、全米平均で約半分に下落するとの予想を公表した。地域別の先物価格を見ると、ニューヨーク市で▲49%の 7.8 セント/kWh、カリフォルニア州南部（SP-15）で▲48%の 5.1 セント/kWh、マサチューセッツ・ハブで▲48%の 5.8 セント/kWh となっている。

この下落の主たる要因は、昨年に比べて需要や燃料価格などに影響を及ぼす市場の基礎的条件が低調であるためとしている。化石燃料価格は、全体的に昨年に比べ現時点で 50～80%下落している。特にガス価格はここ数年にないレベルまで下落しており、石油だけでなくアパラチア近郊の石炭に対して競争力を有する状況となっている。